

クラス・サイズにおける問題、どれくらいのクラスの大きさが大きすぎるのか？

リチャード・ワトソン・トッド

教育きょういくにおいて、クラス・サイズは、懸念事項きょうしです。教師としてはクラスに学習者が 12 人ほどいて教おしえたいという考えです。小さなクラスは本を使ったり、お世話したりできるということを考えています。実際には 実用的な制約とコストは、ほとんどの状況で、40 人、60 人、さらには 100 人の生徒ひょうじゆんがいる教室が標準ひょうじゆんになっています。大きなクラス・サイズが学生の学習ゆうがい えいきょうに有害な影響えいきょうをあたえる。クラスが大きいほど学生の学習が妨害ぼうがいされるが、そもそも、その影響が顕著けんちよに学生の学習こうたいを後退させるまでどのくらいの大きさが必要だろうか？

驚おどろくべきことに、この質問しつもんの明らかな重要性じゅうようせいがあるにもかかわらず、外国語教室がいこくごきょうしつ（例えばタイの大学の英語の授業）で学習に関してクラス・サイズの影響の先行研究が、ありませんでした。大部分せんこうけんきゆうの先行研究はクラス・サイズについて先生の信条しんじょう ちようさを調査しました。そして、大きなクラスでは規制の問題であり、学習知識が減っているという問題があったと報告している。また、先生は学習者とのコミュニケーションや、学習者の意見を聞く機会が減っているということも示している。先生からのお世話や、コメントやアドバイスなどが減少しているということを先生が考えている。そのため、それらのことは、学習問題になるかもしれない。しかし、学習問題に影響を与える数は学習者がクラスに何人いないといけないかということがまだ明らかになっていない。

これを見つけ出すために、KMUTT でのエンジニア学部と科学学部のすべての学生の基礎英語成績じょうほうという情報じょうほうが使えます。4 年生にわたって 4 科目は学生が 984 人います。(ひとクラスあたりの?) 学生人数の違いは 10 人から 103 人までへいきんち (平均値で 36 人/クラス) です。学生の成績からすると、本当がくしゅうもんだいの学習問題について明らかにならない。しかし、これらの情報は一部分ぶんせき分析できるものである。

クラス・サイズえいきょうが影響を持っていたかどうか見るために、我々は、学生が勉強したクラスのサイズと受け取った成績の関係を見ることができます。30,000 余りの学生の成績では、成績せいせきとクラスのサイズの間あいだ ふ そうかんに負の相関があり ($r = -0.126; p < 0.001$)、一般いっぱんにクラスが大きいほど成績せいせきが悪くなります。成績せいせきの違いが、学生の専攻よりクラス・サイズによることを確認かくにんするために、我々は、ある学生は 31 人クラスの中で B+ が取れているが、83 人クラスにいれば、この学生は C が取れている。それから、75 人のクラスで C+ が取れた。学生人数あたりクラスの違いの観察から、明確に結

果に示す ($r = -0.222$; $p < 0.001$)、クラスのサイズは学習者の成績の影響に与えるということが分かった。

クラス・サイズと成績のこの否定的な関係は我々が予想したものです。しかし、教室内の学習者人数は勉強の減少に影響を与えるかという疑問がある。それを明らかにするために、我々は異なるクラス・サイズの学生成績の平均を見ることができます。すなわち、大きな教室で学習すれば、成績が良くなるということですが、16-20の学生のクラスでは、数としての平均勾配は、2.89であり、21-25人は2.88であり、26-30人は2.73であるという成績です。このことから、16-20人以上のクラスから21-25人までは、めったに成績に影響を与えないということが分かりました。しかし、26-30人以上だったら、成績が低くなるということですが、31-35人のクラスにとっては、2.77であり、36-40人のクラスは2.71です。26-30人のクラスに比べると、成績が変わらないということである。しかし、クラス・サイズが46以上になると、平均は2.13まで急落します。したがって、我々は2つの重要な入り口レベルを確認することができます。25人の学生まで、成績はクラス・サイズにそれほど影響を受けようではありません。25人以上の学生の場合に、成績は顕著により低下します。つまり、26-46人クラスの成績はかなり定常であるが、大きなクラスの場合は成績がとて低くなるということですが、

これらの結果は大学管理者に重要な影響があり、他の教育レベルでも適用できるかもしれませんが、理想的には、大学の英語の授業は、最大でも25人の学生に保たれなければなりません。実際的な理由により、この理想は、必ずしも達成できないかもしれません。この理想が実用的でない状態では、たとえ何が起こっても、45人の学生より大きなクラスは実施されるべきではありません。学生の学習利益のために、45人の学生で英語コースの可能な最大クラス・サイズを設定する規則を発行する必要があります。

参考文献

Watson Todd, R. (2012), "The effects of class size on English learning at a Thai university," ELT Research Journal vol. 1 no. 1, pp. 80-88